平成２８年度　　米原高等学校　学校評価

本年度の重点目標

（１）授業を大切にし、様々な教育活動を通して確かな学力を育む教育の推進
（２）心豊かでたくましい、自律ある人間性の育成
（３）生徒の夢の実現を目指した、充実した進路指導の推進
（４）地域社会・関係機関・家庭との連携の深化と「信頼される学校づくり」の推進
（５）普通科（普通類型・英語コース）、理数科の特色を生かした教育活動の推進と調和のとれた発展

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	学校の教育方針・教育目標にそった特色ある学校づくりを行っている。	A		
	分掌、学年間の連携が円滑に行われ、学校が有機的に機能している。	A		
2　学習指導	授業時間の確保に努め、シラバスに基づき計画的に学習指導を行っている。	A		
	指導力向上の研究に努め、研究授業等を通して授業改善に取り組んでいる。	A		
3　生徒指導	基本的生活習慣の確立を目指すとともに、交通マナーや防災・防犯意識の高揚に努めている。	A		
	「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめのない学校作りに努めている。	A		
4　進路指導	進路指導の研修を計画的に実施し、生徒の個々に応じた進路指導を行っている。	A		
	進路の手引きや進路に関する情報・資料を整理し、生徒に有効に活用させている。	A		
5　特別活動等	生徒の実態や学年段階に応じたＬＨＲや学校行事を適切に行っている。	A		
	生徒会活動やＨＲ活動を、生徒が主体的に取り組めるよう指導している。	A		
6　学校図書館	年３回、一週間以上の朝読書で読書習慣を付け、読書の大切さに気付かせる指導をしている。	A		
	生徒にとって、図書館が親しみやすく、活用しやすい場となるよう努めている。	A		
7　保健・安全指導	生徒の健康管理、事故・怪我への対応を適切に行っている。	A		
	教育支援体制に基づき、生徒への心の相談を適切に行っている。	A		
8　人権教育	一人ひとりの人権が尊重される明るく生き生きとしたクラスづくりに努めている。	A		
	統一ＬＨＲ、共同鑑賞等により、人権意識を高める指導を行っている。	A		
9　環境教育	ゴミの分別や日常の清掃活動を通して､適切な環境教育に努めている。	A		
	滋賀県庁環境マネジメントシステムの観点から、光熱費の節減、ゴミの減量化、印刷物の両面印刷等に努めている。	A		
10　事務・管理	施設・設備・備品・薬品等の点検を行い、適切に管理している。	A		
	文書管理を適切に行っている。	A		
11　その他 学校の取組み	学校行事や研究成果をホームページ等で保護者や地域に積極的に公開している。	A		
	体罰のない、生徒が安心して学べる環境を確保している。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準は、肯定的な評価が75%以上をＡ、50%以上75%までをＢ、25%以上50%までをＣ、25%未満をＤとする。

学校のURL：　http://www.maibara-h.shiga-ec.ed.jp/